



みんなで地球にやさしい物流を

Green Partnership

# 来年度のグリーン物流の展開方針

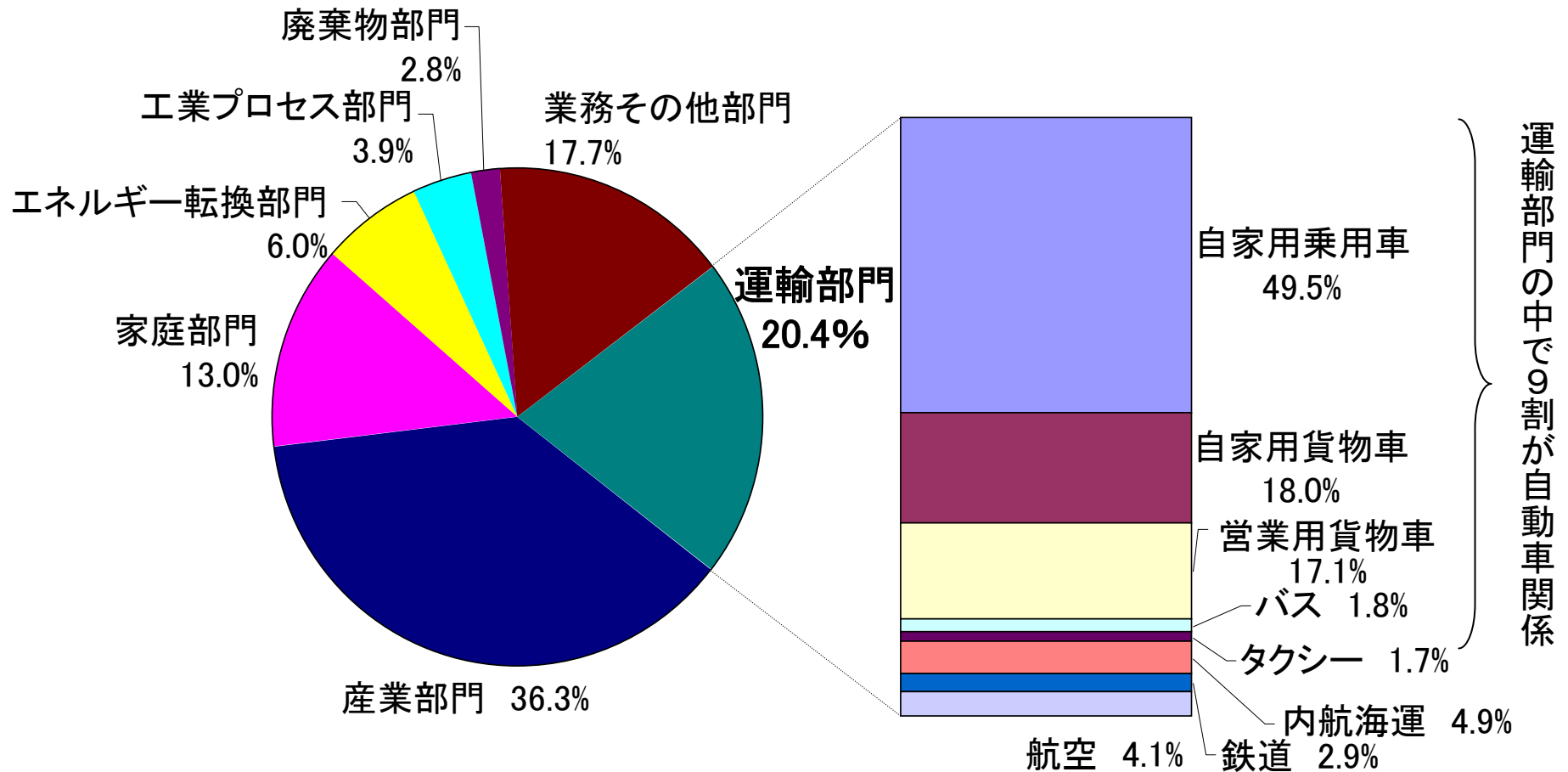
平成18年12月19日

国土交通省政策統括官付

政策調整官(物流担当)



# 1. 運輸部門における二酸化炭素排出の現状

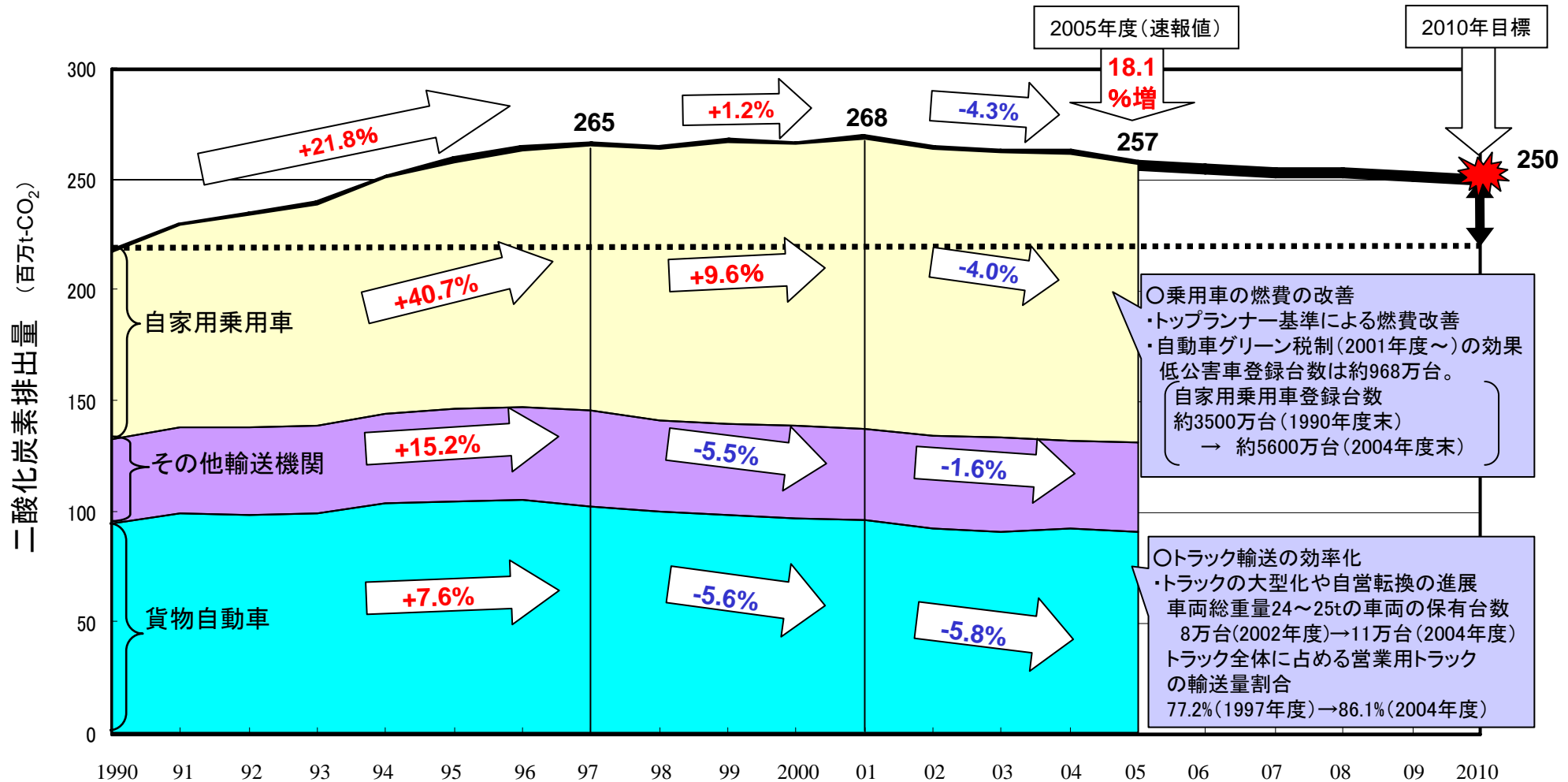


運輸部門の中で9割が自動車関係

- 我が国の二酸化炭素排出量の約20%が運輸部門による
- 運輸部門のうちおよそ9割が自動車による
- 運輸部門のうちおよそ半分が自家用乗用車による

# 運輸部門におけるCO2排出量の推移

- 2001年度以降、運輸部門からの排出量は減少傾向を示している。
- 貨物自動車は1996年度をピークにして減少、自家用乗車は2001年度をピークに減少



○乗用車の燃費の改善  
 ・トップランナー基準による燃費改善  
 ・自動車グリーン税制(2001年度～)の効果  
 低公害車登録台数は約968万台。  
 (自家用乗用車登録台数  
 約3500万台(1990年度末)  
 → 約5600万台(2004年度末))

○トラック輸送の効率化  
 ・トラックの大型化や自営転換の進展  
 車両総重量24～25tの車両の保有台数  
 8万台(2002年度)→11万台(2004年度)  
 トラック全体に占める営業用トラック  
 の輸送量割合  
 77.2%(1997年度)→86.1%(2004年度)

その他輸送機関:バス、タクシー、鉄道、船舶、航空



## 2. グリーン物流パートナーシップ会議について



- ◆ 荷主企業の積極的な参加による取組の裾野の拡大
- ◆ 荷主・物流事業者の協働によるCO2排出削減計画の策定
- ◆ 関係省庁の連携による積極的な支援

### グリーン物流パートナーシップ会議

JLS 日本物流団体連合会 経済産業省 国土交通省 日本経済団体連合会

荷主企業・流通事業者  
および各業界団体

物流事業者  
および事業者団体

監査法人等 シンクタンク 研究機関 研究者  
国の地方局 地方自治体 その他

#### 事業調整・評価WG

- プロジェクトの醸成・評価

#### CO2排出量算定WG

- 多様な取組に応じた算定手法の策定と標準化

#### 広報企画WG

- 優良事例の選出とPR
- 普及拡大に向けた広報

#### トラック輸送効率化



荷主別ラックの活用とトラック大型化により多数荷主の幹線輸送を共同化

#### 国際複合一貫輸送



フラットラックコンテナを活用しJRの12ft汎用コンテナによる国際一貫輸送を実施

#### 複数荷主によるモーダルシフト



複数荷主の参加により大規模にモーダルシフトを実施

#### 3PL事業による物流最適化



物流拠点整備により保管・輸配送を総合的に効率化し、物流システムを最適化

平成17年2月1日より、会員登録の受付を開始（継続中）。  
平成18年12月6日現在、2,629の企業、団体等が会員登録済。

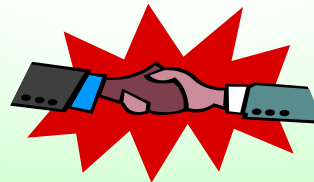
グリーン物流パートナーシップ会議  
会員企業・団体

2,629社等

荷主企業  
777社



物流事業者  
1,374社



行政機関等その他  
478団体等



環境負荷の低減効果が明確であり、かつ、荷主企業と物流事業者のパートナーシップのもと、平成17年度に物流効率化を推進する事業33件について、平成17年9月2日、グリーン物流パートナーシップ会議において推進するモデル事業を決定。

推進決定された事業のうち経済産業省および国土交通省において審査を行い、一定の要件を満たした21件に対し、補助金を交付決定。

|             | 提案  | 推進決定 | 交付決定 |
|-------------|-----|------|------|
| 拠点集約化       | 9件  | 4件   | 4件   |
| 輸送共同化       | 25件 | 14件  | 9件   |
| 船舶へのモーダルシフト | 11件 | 5件   | 4件   |
| 鉄道へのモーダルシフト | 20件 | 10件  | 4件   |
| 合 計         | 65件 | 33件  | 21件  |





平成17年度

### グリーン物流 パートナーシップ 会議

荷主企業と物流事業者が連携・協働して行うCO2排出削減に向けたプロジェクトを造成・推進決定  
⇒モデル事業補助  
⇒排出量算定指標策定  
⇒優良事例の広報

経済産業省と

平成18年度

### グリーン物流パートナーシップ会議(本省)

- ・モデル事業、普及事業の推進決定
- ・モデル事業の醸成・評価

継続・拡充

グリーン物流に係る取組について、一層の裾野拡大・普及  
⇒本格普及事業  
⇒地方への展開

国土交通省の連携

### 地方版グリーン物流パートナーシップ会議

#### 【構成】

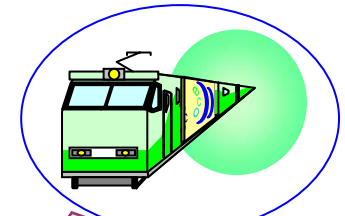
地方経済産業局、地方運輸局、地方整備局、地方自治体、地方経済団体、荷主団体、物流団体、有識者等で構成

#### 【役割】

- ・普及事業の案件発掘・醸成
- ・普及事業の審査、プライオリティ付け  
トラック輸送効率化  
複数荷主によるモーダルシフト



荷主別ラックの活用とトラック大型化により多数荷主の幹線輸送を共同化



複数荷主の参加により大規模にモーダルシフトを実施

拡充

平成18年度からは先進的な取組であるモデル事業に加え、モデル事業等の先例をもとにCO2削減の取組を普及・拡大させる取組である普及事業も支援

（H18推進決定事業の分類）

（件）

| 類 型       | 拠 点<br>集 約 化 | 共 同<br>輸 配 送 | 鉄 道 へ の<br>モ ー ダ ル<br>シ フ ト | 海 運 へ の<br>モ ー ダ ル<br>シ フ ト | 電 子 タ グ<br>活 用 | そ の 他 | 合 計 |
|-----------|--------------|--------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------|-------|-----|
| ① モデル 事業  | 4            | 4            | 2                           | 2                           | 3              | 0     | 15  |
| ② 普 及 事 業 | 10           | 6            | 21                          | 14                          | 0              | 13    | 64  |
| 合 計       | 14           | 10           | 23                          | 16                          | 3              | 13    | 79  |

※普及事業のその他は車両の大型化による積載率の向上等

※1事業で、複数の類型にまたがるものも有るが、代表的な類型に分類。

※モデル事業は1次～3次の計。普及事業は1次、2次の計。

### 3. 19年度のグリーン物流に関する施策の展開

# グリーン物流に関する支援メニュー

- 荷主と物流事業者が連携してCO<sub>2</sub>削減に取り組む先進的な取組に対し「**モデル事業補助金**」（平成17年度～）、モデル事業等の先例をもとにCO<sub>2</sub>削減の取組を普及・拡大させる取組に対し「**普及事業補助金**」（平成18年度～）による支援を継続してゆく方針。
- さらに平成19年度からは、パートナーシップ構築のための問題点・対応策を事前に調査（F/S：フィージビリティスタディ）することでグリーン物流プロジェクトの創成を支援する「**ソフト支援事業**」の展開を検討中。

継続

**モデル事業**（補助金・補助率1/2）  
荷主と物流事業者が連携した先進性のある取組を支援

\*  
9.8  
億円

継続

**普及事業**（補助金・補助率1/3）  
モデル事業等の先例をもとに実施される取組の裾野拡大

\*  
\*  
30  
億円程度

新規  
(検討中)

**ソフト支援事業**（委託事業）  
F/Sを踏まえたグリーン物流プロジェクトの創成

\*印：経済産業省予算（平成18年度予算額）

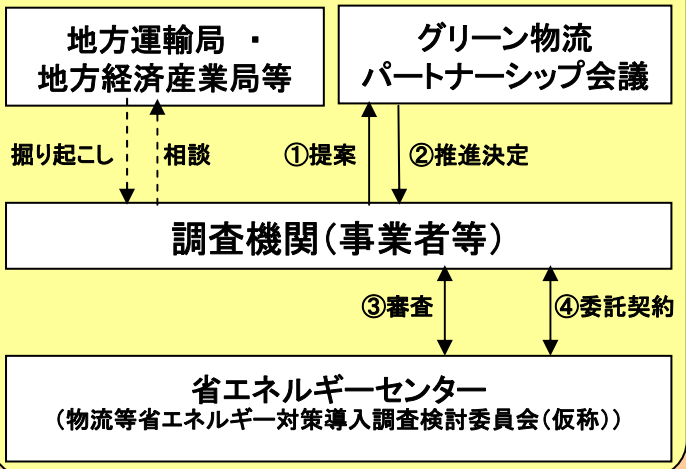
\* \*印：新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)予算（平成18年度予算額）

## 発掘

### ソフト支援事業 (新規要求)

グリーン物流の推進にあたってのボトルネックの抽出・解決方策の検討等、パートナーシップの構築を含めプロジェクト創成を支援

#### 【事業スキーム案】



## 先進的な取組

### グリーン物流 パートナーシップ モデル事業

荷主と物流事業者が連携した先進的な取組を支援

## 省エネルギーへ Action

### グリーン物流 パートナーシップ 普及事業

モデル事業を参考にした取組や従来から行われているモーダルシフト等の取組のうち、省エネルギー効果やCO2削減効果の高い事業を支援

## 普及・拡大

#### 3PL事業による物流最適化



物流拠点整備により保管・輸配送を総合的に効率化し、物流システムを最適化

#### 複数荷主によるモーダルシフト トラック輸送効率化

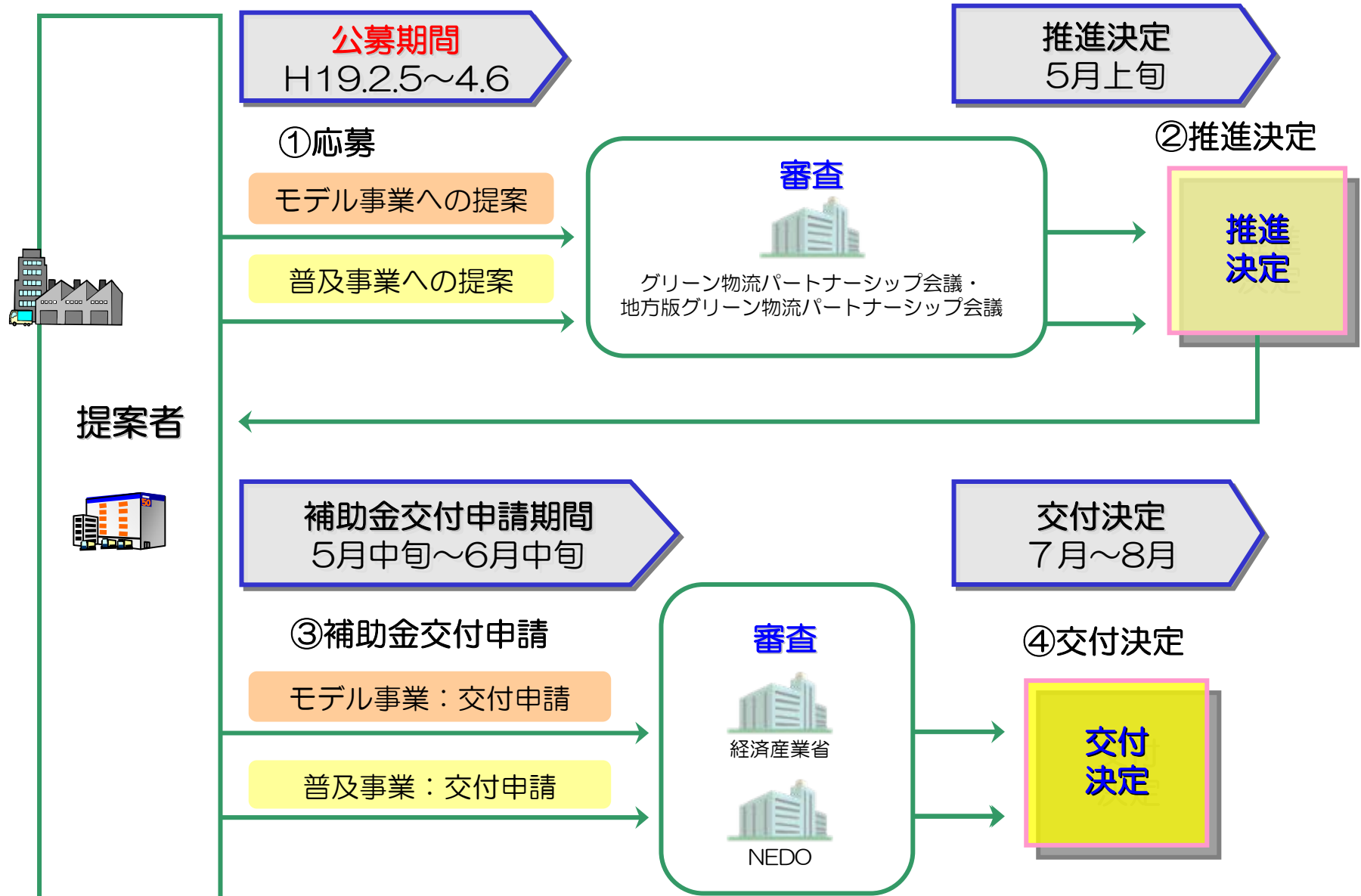


複数荷主の参加により大規模にモーダルシフトを実施

荷主別ラックの活用とトラック大型化により多数荷主の幹線輸送を共同化



# モデル事業等の公募スケジュール等（予定）



(注) 上記スケジュール等は全て、グリーン物流に関する平成19年度予算が概算要求のとおり成立した場合の予定です。

本日ご説明しました内容や応募要項などについては、  
グリーン物流パートナーシップ会議のウェブサイト上に、  
詳しく掲載される予定であります。

ご静聴ありがとうございました。

<http://www.greenpartnership.jp/>



みんなで地球にやさしい物流を

グリーン物流パートナーシップ